

第2次堺市スポーツ推進計画 概要版

◆策定の趣旨
 現行の堺市スポーツ推進計画が、平成24年9月から平成28年3月末までの計画期間を満了することに伴い、次期計画（平成28年4月から平成33年3月末）の策定を行うもの。

◆前計画の総括
 「4つの重点取組項目」

スポーツへの関心の向上	スポーツを身近に感じてもらえるような取組の推進
スポーツ機会の提供	
スポーツを支える体制の整備	
スポーツ施設の整備	

■前計画の指標

(1)20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率（目標値：50%以上）
 平成22年度：33.4%⇒平成27年度：**47.3%（↑13.9ポイント）**

(2)小中学生の体力テストにおける体力合計点の全国平均との比較値（平成27年度目標値：100（全国平均））

◆小学5年生
 平成21年度：95.9⇒平成26年度：**97.0（↑1.1ポイント）**

◆中学2年生
 平成21年度：92.4⇒平成26年度：**93.0（↑0.6ポイント）**

◆現状（課題）

「する」
 ・スポーツができない理由 第1位「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」
 ・小中学生で運動をすることが好きな割合：全国平均以下

「みる」
 ・スポーツを「みるのが好き」：前回調査より減少

「ささえる」
 ・スポーツボランティアについて「活動を知らない」又は「関心はない」：5割以上

「ととのえる」
 ・堺市の公共スポーツ施設の数と質について 第1位「簡素なスポーツ施設でもいいため数を多くしてほしい」

《今後の方向性》

- ・気軽にスポーツができる機会の提供
- ・青少年の運動習慣の確立に向けた取組
- ・国際大会やトップレベルチーム等を通じたスポーツの魅力発信
- ・ニーズに即した指導者の養成・支援
- ・ボランティア活動の啓発情報発信
- ・スポーツ施設の充実と効果的な管理運営

◆第2次堺市スポーツ推進計画（計画期間：H28.4.1～H33.3.31）

本市が有するスポーツ資源を最大限に活用！

■日本最大級の施設規模を誇る

「J-GREEN堺」

- 堺市民オリンピック
- 堺ブレイザーズ
- セレッソ大阪堺レディース
- 自転車のまち・堺
- 学生相撲発祥の地
- （仮称）原池公園野球場



《4つの取組方針と個別目標》

「する」：スポーツをする機会を提供します！

- 堺市民オリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021等の参加型スポーツイベントの開催
- ライフステージに応じたスポーツ教室の充実
- 総合型地域スポーツクラブの創設支援
- 体育の授業の充実と運動部活動推進

「みる」：スポーツを観るきっかけを創出します！

- ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会でのキャンプ地誘致
- 堺ブレイザーズやセレッソ大阪との連携強化

「ささえる」：スポーツ活動を支える体制づくりを進めます！

- 堺市スポーツ推進委員によるスポーツ推進
- 堺市民オリンピックや堺ツーデーマーチ等のスポーツイベントでの大会ボランティアの育成

「ととのえる」：市民ニーズに応じたスポーツ環境を提供します！

- （仮称）原池公園野球場や大浜体育館（武道館併設）の整備推進
- 質の高いスポーツ関連情報の提供

■総合型地域スポーツクラブ数の増加 1か所⇒5か所

■運動が好きな小中学生の割合
 小学5年生 89.3%⇒90%
 中学2年生 83.9%⇒85%

■げんきあっぷ教室の累計開催回数 606回⇒736回
 累計参加者数 10,406人⇒12,500人

■堺市障害者スポーツ大会の参加者数 385人⇒500人

■スポーツをみるのが好きな市民の割合 65.6%⇒70%

■過去1年間に会場でスポーツ観戦した市民の割合 23.5%⇒30%

■スポーツボランティアとして活動中又は活動したい市民の割合 7.4%⇒15%

■市内の公共スポーツ施設の利用者数 3,046,010人⇒3,350,000人

誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむ環境を提供し、
 スポーツを通じて明るく元気で活力あるまち

～「スポーツタウン・堺」の実現～

～総合目標～

- 20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率 47.3%⇒65%
- 小中学生の体力テストにおける体力合計点の全国平均との比較値
 小学5年生 97.0⇒100 中学2年生 93.0⇒100